

<b>科目名</b>	高等学校教育実習 [Teaching Practice in Senior High School]				
<b>区分</b>	教職科目	<b>選択必修</b>		<b>単位数</b>	2
<b>対象学科等</b>	農 学 部	<b>対象年次</b>	4～	<b>開講時期</b>	通年
<b>授業形態</b>				<b>時間割番号</b>	VED4003
<b>責任教員</b>	降旗 信一 [FURIHATA Shinichi] (農学部)				
<b>研究室</b>		<b>メールアドレス</b>			
<b>概要</b>					
<p>中学校・高等学校の教員免許取得のために教職科目の総まとめとして、高等学校において実際に教壇に立つという実習を行います。高等学校校教員の実務を体験し、自分の就職先として適しているかどうかを最終的に判断する重要な機会でもあります。</p>					
<b>到達基準</b>					
<p>中学校・高等学校教員の実務を体験し、実習先の中学校・高等学校教員としての実務を責任を持って担います。また、自分の就職先として適しているかどうかを最終的に判断します。</p>					
<b>授業内容</b>					
<p>教育実習オリエンテーションを3回受けた上で、実習校において実習を行います。実習期間中の個々の指導は、受け入れ先の教員によってなされます。</p> <p>当該年度に教育実習を行うためには、指定された教職科目がすでに履修済みであること、教育実習オリエンテーションに参加していることなどの履修条件があります。詳しい内容については、教育実習ガイダンスでの指示に従ってください。</p>					
1)教育実習前					
<p>学校訪問・校長面接・学校参観・1週間前くらいまでに実習校を訪問し、実習規約・実習心得や指導教諭・担当学年などの情報を得ておくこと</p> <p>教材研究 使用教科書を手に入れ、事前に教材研究をしておくこと</p> <p>教育法規の確認 憲法、教育基本法、学校教育法などの基本的法規を必ず読んでおくこと</p>					
2)教育実習第1週					
<p>実習生紹介 初日の朝礼で受け入れ式などがある</p> <p>指導教諭との打ち合わせ 担当授業数などが決められる</p> <p>校長講話 真面目に聞いて好印象を持たれておくことが重要</p> <p>授業開始 初めのうちは参観、徐々に授業をやらせてもらえるようになる。</p> <p>指導教諭からの指導 指導案の作成を中心に個別の指導を受ける</p>					
3)教育実習第2週					
<p>授業担当 徐々に担当できる授業が多くなる</p> <p>研究授業 最終週の水木あたりに行く。学校内の教諭すべて、他の実習生、などに公開される授業。大学の指導教員、教職専任教員にも連絡すること。研究授業終了後に反省会・検討会が開かれる。</p> <p>お別れ会・離任式 担当したクラスで生徒たちが中心になって開いてくれる。教員主催の会合があることもある。</p>					
4)教育実習後					
<p>お礼状送付 教育実習校の校長、指導教諭、生徒たちにお礼状を出すこと</p> <p>実習レポートの作成 教育実習についての報告書を教職専任教員に提出する</p>					
<b>履修条件・関連項目</b>					
<b>テキスト・教科書</b>					
<p>担当する教科の学習指導要領と教科書を購入し、よく読んでおくこと</p>					
<b>参考書</b>					
<p>「学習指導案の書き方」などの類書を各自、複数冊選んで購入し、参考とすること</p>					
<b>成績評価の方法</b>					
<p>受け入れ先の評価に基づいて成績評価がなされます</p>					
<b>教員からの一言</b>					
<b>キーワード</b>					

オフィスアワー	
備考1	
備考2	
参照URL	

<b>科目名</b>	高等学校教育実習 [Teaching Practice in Senior High School]				
<b>区分</b>	教職科目	<b>選択必修</b>		<b>単位数</b>	2
<b>対象学科等</b>	工 学 部	<b>対象年次</b>	4～4	<b>開講時期</b>	3 学期
<b>授業形態</b>				<b>時間割番号</b>	V0212
<b>責任教員</b>	三浦 巧也 [MIURA Takuya] (工学部)				
<b>研究室</b>	3 号館 3 階 311 室	<b>メールアドレス</b>			
<b>概要</b>					
<b>【目的と概要】</b>					
<p>教育実習は、教職科目及び専門科目等で身に付けた教育に対する専門的な知見を実際の教育現場で生かし、実践的知識を習得することが目的である。</p> <p>また、教員免許取得のための教職科目の総まとめとして、学校において実際に教壇に立つという実習を実施する。教員の実務を体験し、自分の就職先として適しているかどうかを最終的に判断する重要な機会となる。</p>					
<b>到達基準</b>					
<p>(1) 専門職としての教職の実際について、現場で直に見聞する。</p> <p>(2) 教師として学習指導・生徒指導・校務の実際に携わり、教師の卵としての自身の現状と課題を知る。</p> <p>(3) 大学での学習を通して習得した知識や技能を実地において検証する。</p> <p>(4) 大学の授業だけでは得られないものは何であるかを知る。</p>					
<b>授業内容</b>					
<p>実習年度において、以下の①から④のすべてに参加すること</p> <p>①教育実習オリエンテーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ</p> <p>②実習校での事前ガイダンス(該当者のみ)</p> <p>③実習校での実習</p> <p>④事後指導(実習報告)</p>					
<b>履修条件・関連項目</b>					
<p>この授業は原則として 2020 年 4 月から 2021 年 3 月までに教育実習を行い、2020 年度に卒業・免許取得見込みの学生が対象となる。</p> <p>当該年度に教育実習を行うためには、</p> <p>①指定された教職科目がすでに履修済みであること</p> <p>②教育実習オリエンテーションに参加していること</p> <p>などの履修条件がある。詳しい内容については、教育実習ガイダンスでの指示に従うこと。</p>					
<b>テキスト・教科書</b>					
特になし。					
<b>参考書</b>					
中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、生徒指導提要					
<b>成績評価の方法</b>					
受け入れ先である実習校の評価(教育実習成績証明書)に基づいて成績評価がなされる。また、教育実習レポートも評価の一部として考慮する。					
<b>教員からの一言</b>					
<b>キーワード</b>					
<b>オフィスアワー</b>					
<b>備考 1</b>					
<b>備考 2</b>					
<b>参照 URL</b>					